

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026..1.9(月)

事業コード	25-G-12	学校名	池田町立八幡小学校			住 所	揖斐郡池田町八幡753
実施日		12月10日(水)13:10～15:25			受講児童生徒数	50名(6年生)	
開講職種数		4職種	指導者数	8名	参観保護者数	11名	

学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

・小学生では、なんとなく夢や希望をもっている具体的な職業を知らないことが多いです。この体験授業を通して、あまり知らないものづくりの仕事の魅力に気付くことができる良いきっかけになったので、今後もぜひ続けていただきたいです。

・中学生でも、職業の種類や実際に何をしているのかは知らないと思います。実際どのような作業をしているのかを詳しく知ることとはとても面白かったし、興味をもつことができました。内装や瓦など、知っていそうで知らない職業があるので、そこにクローズアップして体験させていただけると勉強になります。

・体験を通して新しい職業について知り、興味を持つことに繋がりました。

会場担当教員アンケートの結果（４会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
- ①大変よく伝わった

→

4

②ある程度伝わった

→

③あまり伝わらなかった

→

④全く伝わらなかった

→
- 2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

・教職しか知らない教員が多い中、知識・経験・技能が豊富な専門家にご来校いただいて、いろいろな職業について、講話と体験の両方を直接指導いただけるこの事業は、大変貴重で、より多くの学校で実施できるよう拡充を願いたい。今回の体験授業がきっかけになって、一人一人が夢や目標を持つ児童が増えることを期待したい。（電子機器組立て会場）

・なんとなく知っていた職業の内容がより具体的にイメージできるようになったと思います。仕事のやりがいや苦労を知ること、働くことへの憧れを持つことにもつながりました。（かわらぶき会場）

・細かい部分を入念に準備して、こちらにもご連絡いただき、大変助かりました。初めてのことで、しかも多種多様な職の準備があり、不安な部分もありましたが、実際の仕事に触れる経験を小学生のうちにすることの意義は大きいと思います。なんとなく見ることはたくさんありますが、実際にその仕事やその仕事に近いことを行うことは、百聞は一見に如かずだと強く思いました。保護者の方にも、様々な職を知っていただくことで、将来、子どもの仕事の選択肢が広がることは、豊かな未来を創造する一歩になると思います。私も、プロの技に憧れました。（内装仕上げ施工会場）

・小学校では、将来の夢や希望について語ることはあっても、職業体験を行うことはなかなかない。今回、いろいろな職種の体験を、本職の方に指導していただけて行えるということはとてもありがたいし、子どもたちにとってもよい体験になったと思う。また、教員だけでこのような体験活動を行うことは難しいが、職業能力開発協会の方に丁寧にコーディネートしていただいたり予算をつけていただいたりして実現できた。講師の先生方も、子どもたちのために熱心に準備して説明していただいた。ぜひこの活動を今後も続けていただきたい。（フラワー装飾会場）

指導者アンケートの結果（4 職種各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
- ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
- ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

4

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・欠席の生徒の代わりに先生も直接作品作りに加わり、興味を持たれ、積極的に取り組まれていた。

・今までは電子機器組立ては男の子が多かったが、今回は女の子も多く参加し、元気に活動されていた。

・今回の事業には、池田町の教育委員会からも参加、各職業体験を視察され、地域の子供たちや産業への取り組みの熱意を感じました。開会セレモニーのあいさつの中でも「今日の体験を家庭に持ち帰り、家族でお話ください」との言葉もありましたが、今回の電子機器組立て職種には学校側の配慮か、数名のご家族が訪れ、教室後ろで見学されていました。電子機器組立てのような体験は、保護者でも経験は少なく、家族も参加し親子一緒に体験した方が、より仕事の喜びや魅力に繋がるのではないかと感じました。

350度～500度という高温の半田鋏を使用する、また、ペットボトルをハサミで切断するなど危険な作業もあり、指導者としても保護者の参加があればより助かります。（電子機器組立て職種）

・現在、建築業界は人手不足・後継者不足、特に若い人材が不足しています。今後、業界の発展には若い人材の力が必要となり、それには子供たちにもものづくりの素晴らしさを伝えていく必要があります。それには、小学校の段階で体験教室を通じてものづくりの魅力を伝える機会が必要です。是非、事業の継続や拡充をお願いします。（かわらぶき職種）

・内装仕上げ施工の業界においても、若い人が年々少なくなっており、人材確保が大変な状況です。その解決策として、小・中学校の段階から子どもたちに興味関心を持ってもらうことが必要です。この体験授業は正にこの目的にマッチしたものであると思いますので、更なる拡充や継続を是非お願いします。（内装仕上げ施工職種）

・初めての参加だった為、どのように子供たちにもものづくりの魅力を短い時間で伝えるか、難しさを感じた。図工や美術の授業の肩代わりではないというお話にもあったように、違いを出しづらい部分も感じた。

・花という一見華やかな業界ではあるが、生産現場では暑さ・寒さに加え、力仕事もあるため、人材確保は年々難しくなっている。生産現場から小売まで、いかに花に携わる魅力を伝えられるかが今後の課題です。（フラワー装飾職種）

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

		電子機器組立て	かわらぶき	内装仕上げ施工	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)	
指導者数		1	4	2	1	8	
受講児童生徒数		13	13	12	12	50	
回答	とても満足した	10	10	11	11	42	84.0
	ある程度満足した	3	3	1	1	8	16.0
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	合 計	13	13	12	12	50	100

電子機器組立て会場の様子



先生の感想

- ・半田ごては思った以上に難しく、初めての体験で悪戦苦闘していたが、分かりやすい説明とサポートで、どの子も風力発電器を完成させることができた。
- ・職人さんが実際に、半田ごてを使ってはんだ付けをする速さに驚いていた。
- ・大きな機械の電子機器もはんだ付けされているという話が印象に残った。大きな機械から身の回りの機械まで、様々なところではんだ付けされていることに、子どもたちは興味をもって話を聞いていた。
- ・質疑応答では、「自分が好きだったことをきっかけに、職人を志した。」という話から、これから進路選択をする際、「どのような自分になりたいか。」という目標やそれに向かう強い意志を子どもたちは感じ取ったと思われる。
- ・分かりやすく、最後まで子どもたちが集中して取り組むことができた。職人を志したきっかけの話を聞き、話の内容の選び方は、教員としても大変参考になった。限られた時間の中で、全員が安全に作業をしながら、作品を完成させるために、端的かつ的確な指導は、自分の指導を見直すきっかけになった。子どもたちは初めてののはんだ付け体験であったが、実際の作業の様子を見ることができて、安全に作業に取り組むことができた。また、子どもたちは、ものづくりへの興味をさらに持ったように感じた。

児童生徒の感想

- ・電気関係の何かの仕事を目指そうという思いが強くなった。
- ・作品を作る時に向きを間違えてしまったけど、うまくできたので良かった。
- ・電子機器組立ての仕事にははんだごてを使う作業があることを初めて知った。
- ・はんだごてのプロの手つきがとても上手くて、電子機器の作り方をもっと知りたいと思った。
- ・はんだは300℃から400℃でどろどろに溶けてしまうということが印象に残った。
- ・電子機器は少し間違えるだけでLEDが点灯しなくなるし、はんだごてを使った接着もなかなか上手くできなかったのも、難しいお仕事なんだなと思った。
- ・風の力でLEDが点灯して面白かった。はんだごてを使う作業はすごく楽しかった。
- ・新たに知ったことは、電子機器は飛行機の部品など、身の回りの色々なところにたくさんあるんだなと思った。
- ・風車が回ることで、電気やエネルギーが生まれることを知った。また、はんだを溶かして基板に線を描いたりするのが楽しかった。
- ・今日の電子機器組立てのものづくり体験を通して、もっと電気のことが好きになった。

かわらぶき会場の様子



先生の感想

- ・身近にあるものだが、あまり知られていない「かわらぶき」の内容を知ることができた。
- ・実際に体験することで、その職業に興味をもち「やってみたい」と話す児童もいた。
- ・職人さんの手さばきを見て、その技術の高さに憧れをいただいていた。
- ・質疑応答では、働く上でのやりがいや苦勞を知り、職業選択の時に大切なことを考えることができた。
- ・子どもが使用する道具や資材を予め準備してくださり、子どもたちがそれを見ただけでわくわくしていた。実物を用いた導入の大切さを学んだ。実際にかわらを割る姿やかわらぶきの実演は、子どもたちの心に強く印象を与えたと思う。働く上でのやりがいや苦勞、職に関する思いなどをお話いただくときに、児童に分かりやすく話してくださったので、児童が興味をもって聞くことができた。
- ・実際の現場の様子が、写真や動画などで分かったと、仕事の内容や職人の技術がより伝わると感じた。

児童生徒の感想

- ・かわらぶきはとっても大変な仕事だと思った。1つ1つ並べたり、割ったりするのも難しいし、1つミスをすれば変な形に割れたりするのに、プロの人たちはすごいなと思った。
- ・講師の人たちが自分たちに優しく分かりやすく教えてくれたので、ほとんどのことが理解できた。もっとやってみたいと思った。
- ・かわらぶきの仕事は、何年もかけないと一流の職人にはなれないことが分かった。
- ・かわらを割るときに、きれいに割るためにタガネで深く線を描いてから金づちで叩いて割っていた。
- ・建物によって、色んな屋根の形があるということを知った。
- ・かわら割りは難しくて、なかなかまっすぐに割れなかった。
- ・かわら割りは最初は簡単だと思ったけど、三角に割るのはかなり難しかった。でも体験授業はとても楽しかった。
- ・今日の体験授業を受けて、シェフの仕事よりかわらぶきの仕事も良いなと思った。
- ・かわらを割る体験は、多分誰もしたことがないと思うので、今日は貴重な体験ができたと思った。

内装仕上げ施工会場の様子



先生の感想

- ・教室に入った途端、子どもたちはワーツと声をあげた。目線の先には、作業しやすいように物が整った状態の机があった。「何をするかわからないけれど、なんだか、楽しそう」という子どもたちの導入の意識を喚起する手立てを学んだ。
- ・まず、内装という仕事がどういった仕事なのか、子どもたちはイメージができないので、身近に感じることができるように、クロスや床材などの具体物を子どもたちに触らせながら、お話していただけたので、子どもたちは目を輝かせていた。
- ・本物のクロスを目の前で貼ってもらうことで、プロの技を身近に感じることができた。
- ・今まであまり身近に感じてこなかった、内装の仕事を今日のこの2時間で、ぐっと身近に感じることができた。子どもたちの将来の選択肢が広がったと思う。
- ・子どもが使用する物品を予め机の上に準備してくださり、子どもたちがそれを見ただけでわくわくしていた。こういう導入の大切さを学んだ。きっと準備されるのは、簡単なことではなかったと思う。また、実物に勝る教科書はないと思う。実際にクロスを目の前で貼ってくださった実演は、子どもたちの心に強く印象に残ったと思う。講師の先生の今までの生い立ちや職に関する思いなど、お話いただくときに、予め話の内容をまとめてくださっていたので、話の軸がぶれずに聞くことができた。願わくば、講師の先生の実際の現場の様子が写真や動画などでわかると大変さがより伝わったと思う。

児童生徒の感想

- ・内装仕上げの仕事とはどのようなものなのかを知ることができた。2枚の壁紙をほとんど継ぎ目が見えないように貼ることができていて、すごいと思った。
- ・プロの方のやっている姿を見て、自分でも出来そうと思ったら意外と難しくて大変だった。
- ・どんな仕事をしているのかと思ったら、意外と身近なものだったのでビックリした。私も夢はいっぱいあるけど、結局なれるのか心配だったけど、この体験を通して未来の可能性が広がった。
- ・この職業をやっていて良かったことなどをもっと詳しく聞きたかった。
- ・内装仕上げをやってみて、私たちの家の壁や天井、床などもこんなふうに壁紙等を貼っているんだなと思った。とても楽しかった。
- ・ブックエンドづくりをしている途中で失敗したけど、指導者の方に助けてもらったことが嬉しかったし、印象に残った。
- ・いつも見ている壁紙も、こんなふうに2枚を繋げてきれいな1枚にしているのはびっくりした。色んな道具が入ったもの(腰袋)を体にかけていて、自分もつけてみたくなった。
- ・とてもきれいなブック立てを作ることができて、帰って色んなことに使っています。また、辻さんが優しく、楽しく教えてくれてとても良かった。こんな貴重な体験ができてとても嬉しかった。
- ・3名の方がそれぞれの思いを持って「内装仕上げ施工」という仕事に就かれたことがよく分かった。
- ・今まではフラダンサーやパン屋さんになってみたかったけど、今日の体験授業を受けて、若い女性の職人の方も夢を持って働いてみえて、内装仕上げ施工の仕事も良いなと思った。
- ・のりをどのぐらいつけるか分らなかったが、プロの方が優しく教えてくれた。和紙を貼るときに、ずれないようにしたし、切るときもまっすぐに切れるように頑張って、きれいなブックエンドができた。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

- ・講師の先生は、花の生産者であるが、今回体験させていただいたようにフラワーアレンジメントを行っているという話を聞き、花を扱う職種にもいろいろなものがあることが分かった。講師の先生の育てたたくさんのきれいな花や、見本の寄せ植え、アレンジメントを見て「きれい」と声を上げ、興味関心をもって体験活動に取り組むことができた。
- ・フラワーアレンジメントを作るために、画用紙や毛糸を使ったクリスマスオーナメントも作製し、自分の工夫次第でいろいろなアレンジをすることができると学ぶことができた。
- ・実演しながら、手前にバラを、後ろにガーベラで立体感を出すなど、花を美しく見せる工夫を分かりやすく教えていただき、その後実際に体験を行うことができ、その楽しさと難しさを味わうことができた。
- ・花を扱う仕事は、児童に身近で興味・関心をもちやすい内容だった。また、きれいな花でフラワーアレンジメントを作ったり、寄せ植えを見せていただいたりして、楽しさや憧れを感じることができた。体験の中で、花の種類や花を長持ちさせる方法、アレンジする工夫など、専門職でないと分からない内容も丁寧に教えていただけた。フラワーアレンジメントは、同じ材料を使っても全員違う物ができあがると聞いて、説明によく耳を傾け、熱心に体験活動を行うことができた。さらに、今回講師の先生が池田町の方で親近感をもつこともでき、また来年もお願いしたいと思った。

児童生徒の感想

- ・想像力を働かせることが大切だと思った。家にもっとお花や観葉植物を置きたい。
- ・分からないところを、細かく説明してくださって楽しかった。
- ・フラワー装飾の体験授業を受けて、いろいろな花の名前を知ることができたし、花を育てる時の水やりの頻度なども分かった。
- ・花の位置を工夫したり、高さを工夫することができて良かった。
- ・フラワーの仕事でも、作る人と飾る人はそれぞれ違う人がやっていることを初めて知ったし、自分も花を育てて飾ってみて、作ったら家族にプレゼントしたい。
- ・濃い色の花は下で、薄い色の花は上にと良いことを教えてもらった。同じ花でも人が違えば見た目も全然違うんだなと思った。
- ・フラワー装飾の講話を聞いて、同じ花を使ってもみんな違う作品で個性が大事なんだなと思った。花の品種や気温、水やりの加減など、花を育てることはとても大変なことだと思った。装飾した花をできるだけ長持ちさせたい。
- ・最初はうまくできるか不安だったけど「個性が大事だよ」ということを聞いて、私は自分の思うようにやればいいんだなと気づくことができた。
- ・職業体験を通して、もともと好きだったお花を見に行ったり、生け花をしたりしていたけど、この授業を体験してこんな職業もあるんだなと初めて知ることができた。
- ・生産者が花を育ててから市場で競りをすると聞いてびっくりした。競りをするのは魚や豪華なものだけだと思っていたけど、花も競りをするのはびっくりした。